

第30回うらじゃの審査基準として

『共生と融和の理念のもと、「おかやま魂」を体現できた踊り連』

をテーマに審査を実施させていただきます。

「うらじゃ」の想いは、第1回目の開催時から、この「うらじゃ」をきっかけに「郷土の歴史や文化に興味を持つ」ということから「知らなかった歴史や文化を調べ・知る」といった行動を導き、「郷土を誇りに思う心」・「まちを大切にする心」・「人と人との繋がりを大切にする心」を育む活動に繋げ、「まちのために行動を起こせる人」の育成を目指しています。

これは、<“うらじゃ”心得十箇条>に記載されている内容そのものであり、うらじゃの心＝「おかやま魂」です。

以前よりうらじゃへご参加されている踊り連や今回初めてご参加される踊り連、各連とも様々な想いをもってご参加されておられると思います。

本実行委員会として最優秀踊り連となる「誉」、そして優秀踊り連となる「匠」第30回においては、高見実行委員長が掲げる「輪」というテーマを中心に、踊り連内や踊り連同時との繋がりのみならず、岡山を代表するお祭りである「うらじゃ」を通じて、様々な繋がりを深めていただくことを切に希望し、今回の審査を行っていきたいと考えております。

ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

ご参考<“うらじゃ”心得十箇条>

- 一、「誇り」をもつ … 岡山人としての誇りを持つべし
- 二、「歴史・文化」を学ぶ … 地域の歴史・文化を学ぶべし
- 三、「先人」に習う … 先人の尊い教えと行動に触れ、それに習うべし
- 四、「和」を学ぶ … 人の和、地域の和づくりに積極的に参加すべし
- 五、「自責他尊」 … 自らの責任を自覚し、他者を尊ぶべし
- 六、「思いやりの心」 … 自らの欲するものを他に施すべし
- 七、「家庭」を大切にする … 親に孝養を尽くし、子に愛を授くべし
- 八、「自然」と親しむ … 自然に対する畏敬と共生の心を持つべし
- 九、「仲間」を信じる … 自分一人ではない。仲間を信じて行動すべし
- 十、「動く」 … 私が動けば仲間が動き、地域が日本が動く